平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	道路維持費（市道舗装等維持補修他）

所管課	181	建設課	（建設部）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	7	土木費
項	2	道路橋梁費
目	2	道路維持費
細目	1	道路維持費

事業の目的	市道1,687路線、総延長747kmの維持管理に係る総務を実施し、市民の生活環境の改善、安全性、利便性の向上を図る。
根拠条例等	「道路法第42条」（道路の維持又は修繕）
総合計画	基本計画　第3章　第2節　道路交通網の整備
H30年度事業の概要	平成30年度事業費 舗装維持補修他 工事請負費　97,000千円 原材料費　7,300千円 計　104,300千円
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	市道1,687路線、総延長747kmの維持管理に係る総務を実施し、市民の生活環境の改善、安全性、利便性の向上を図る。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	30,000
その他	
一般財源	74,300
H30予算額	104,300
H29当初予算額	114,800
H29現計予算額	114,800
増減額	▲ 10,500

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	59,504	107,300
従事職員数【人工】	1.00	1.00
人件費（人工×8,000千円）	8,000	8,000
総事業費：人件費含む（千円）	67,504	115,300
【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価）・ 総合戦略 ・ その他（　　）		
活動指標名	整備延長	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	540 単位 m	1,280 単位 m
単位当たりコスト　（円）	125,007	90,078

特定財源の状況

辺地対策事業債　30,000千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
5.市民安心安全プロジェクト
[生活基盤の整備]
(1)効果的な道路新設・改良と補修の実施

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	社会資本整備総合交付金事業　道路ストック総点検

所管課	181	建設課	（建設部）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	7	土木費
項	2	道路橋梁費
目	2	道路維持費
細目	1	道路維持費

事業の目的

市道橋梁及びトンネルの点検を行い、道路の安全性の確保と道路施設の長寿命化による維持経費の平準化を図る。

根拠条例等	「道路法第42条」（道路の維持及び修繕）
総合計画	基本計画　第3章　第2節　道路交通網の整備

H30年度事業の概要

社会資本整備総合交付金事業
・橋梁点検　　全橋梁数　　554橋
・トンネル点検　　全トンネル数　4箇所

H30年度　概　要

橋　梁　点　検	121橋	60,000千円
トンネル点検	4箇所	50,000千円
	計	110,000千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

道路の安全性の確保及び施設の長寿命化並びに維持経費の平準化を図る。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	66,550
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	43,450
H30予算額	110,000
H29 当初予算額	80,100
H29 現計予算額	80,100
増減額	29,900

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	37,485	80,100
従事職員数【人工】	0.50	0.50
人件費（人工×8,000千円）	4,000	4,000
総事業費：人件費含む（千円）	41,485	84,100
【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価）・ 総合戦略 ・ その他（　　）		
活動指標名	進捗率	
活動指標の算式	点検済件数／総点件数	
活動指標の実績(見込)	33.4 単位 %	72.2 単位 %
単位当たりコスト　（円）	1,242,308	1,164,785

特定財源の状況

社会資本整備総合交付金
66,550千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
5.市民安心安全プロジェクト
[暮らしの安全]
(16)道路ストック総点検事業

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	社会資本整備総合交付金事業　道路災害防除

所管課	181	建設課	（建設部）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	7	土木費
項	2	道路橋梁費
目	2	道路維持費
細目	1	道路維持費

事業の目的

道路施設調査点検に基づき、災害防除対策計画を策定し、計画性をもった対策を行うことにより、道路の安全性の確保及び経費の平準化を図る。

根拠条例等	「道路法第42条」（道路の維持又は修繕）
総合計画	基本計画　第3章　第2節　道路交通網の整備

H30年度事業の概要

社会資本整備総合交付金事業
　道路災害防除（市道　長峯大野線他）

H30年度　概　要　　市道　長峯大野線他

道路災害防除工事費	80,000千円
道路災害防除設計委託料	20,000千円
計	100,000千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

道路の安全性の確保及び経費の平準化を図る。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	60,500
県　費	
市　債	43,500
その他	
一般財源	▲ 4,000
H30予算額	100,000
H29 当初予算額	30,100
H29 現計予算額	78,100
増減額	69,900

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）		78,100
従事職員数【人工】		0.50
人件費（人工×8,000千円）		4,000
総事業費：人件費含む（千円）		82,100
【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価）・ 総合戦略 ・ その他（　　）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績(見込)	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況

社会資本整備総合交付金
60,500千円
自然災害防止事業債　43,500千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
5.市民安心安全プロジェクト
[暮らしの安全]
(15)道路災害防除事業

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	社会資本整備総合交付金事業　橋梁等長寿命化修繕事業

所管課	181	建設課	（建設部）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	7	土木費
項	2	道路橋梁費
目	2	道路維持費
細目	1	道路維持費

事業の目的

橋梁・トンネル施設点検に基づき、修繕計画を策定し、計画性をもった修繕を行うことにより、道路の安全性の確保及び施設の長寿命化並びに維持経費の平準化を図る。

根拠条例等	「道路法第42条」（道路の維持又は修繕）
総合計画	基本計画　第3章　第2節　道路交通網の整備

H30年度事業の概要

社会資本整備総合交付金事業　橋梁長寿命化修繕計画

H30年度　概　要

測量・設計委託料　3橋	20,000千円
橋梁修繕工事費　1橋	120,000千円
計	140,000千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

道路の安全性の確保及び施設の長寿命化並びに維持経費の平準化を図る。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	84,700
県　費	
市　債	58,500
その他	
一般財源	▲ 3,200
H30予算額	140,000
H29 当初予算額	92,200
H29 現計予算額	92,200
増減額	47,800

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	7,827	28,510
従事職員数【人工】	0.30	0.50
人件費（人工×8,000千円）	2,400	4,000
総事業費：人件費含む（千円）	10,227	32,510

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名	修繕橋梁数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)	2	単位	橋	3	単位	橋
単位当たりコスト　（円）	5,113,500			10,836,667		

特定財源の状況

社会資本整備総合交付金　84,700千円
合併特例債　50,700千円
過疎対策事業債　2,300千円
辺地対策事業債　5,500千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
5.市民安心安全プロジェクト
[暮らしの安全]
(17)橋梁長寿命化事業

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	社会資本整備総合交付金事業　交通安全施設整備

所管課	181	建設課	（建設部）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	7	土木費
項	2	道路橋梁費
目	2	道路維持費
細目	3	交通安全施設整備費

事業の目的

通学路等の危険箇所の改善を行い、児童・生徒の安全確保を図る。
また、生活に密着した道路の防護柵、カーブミラー等の維持補修を行い、危険箇所の改善を行う。

根拠条例等	「道路法第42条」（道路の維持又は修繕）
総合計画	基本計画　第3章　第2節　道路交通網の整備

H30年度事業の概要

社会資本整備総合交付金事業

H30年度　概　要　　市道　高萩台8号線

（歩道拡幅他）	工　事　費	25,000千円
（防護柵、カーブミラー等設置）	工　事　費	7,000千円
	事　務　費	150千円
計		32,150千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

通学路等の危険箇所の改善を行い、児童・生徒の安全確保を図る。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	6,050
県　費	
市　債	18,000
その他	
一般財源	8,100
H30予算額	32,150
H29 当初予算額	31,020
H29 現計予算額	31,020
増減額	1,130

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	8,027	10,720
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費（人工×8,000千円）	1,600	1,600
総事業費：人件費含む（千円）	9,627	12,320

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名	整備箇所数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)	35	単位	箇所	31	単位	箇所
単位当たりコスト　（円）	275,057			397,419		

特定財源の状況

社会資本整備総合交付金
6,050千円
合併特例債　18,000千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
5.市民安心安全プロジェクト
[暮らしの安全]
(11)防犯灯、交通安全施設の整備

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	社会資本整備総合交付金事業　市道小倉室生線

所管課	181	建設課	（建設部）

事業の目的

市道小倉室生線は、国道25号（名阪国道）から国道165号を経由し、国宝である室生寺を結ぶ主要な観光アクセス道路で、四季を問わず県内外から多くの来訪者がある。
近年、通行車両の大型化や老朽化による舗装面の悪化が進行しているため、舗装修繕を行い利用者の安全性の確保及び利便性の向上を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	7	土木費
項	2	道路橋梁費
目	3	道路新設改良費
細目	13	社会資本整備総合交付金事業（小倉室生線）

根拠条例等	「道路法第42条」（道路の維持又は補修）
総合計画	基本計画　第3章　第2節　道路交通網の整備

H30年度事業の概要

社会資本整備総合交付金事業
全 体 計 画　H22～H33年度
全体事業費　258,500千円
全 体 延 長　L=3,200m

H30年度　概　要　L=740m　W=7m

（舗装補修）	工 事 費	30,000千円
	事 務 費	200千円
	計	30,200千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

宇陀市室生小原～室生三本松地内の主要路線である当該路線の安全性及び利便性の向上により、観光客の増加が見込まれ、地域の活性化が図られる。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	18,150
県　費	
市　債	13,300
その他	
一般財源	▲ 1,250
H30予算額	30,200
H29 当初予算額	41,300
H29 現計予算額	41,300
増減額	▲ 11,100

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	23,237	29,723
従事職員数【人工】	0.30	0.30
人件費（人工×8,000千円）	2,400	2,400
総事業費：人件費含む（千円）	25,637	32,123

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名	整備率					
活動指標の算式	整備済延長／全体延長					
活動指標の実績(見込)	72.5	単位	%	77.2	単位	%
単位当たりコスト　（円）	353,614			416,168		

特定財源の状況

社会資本整備総合交付金
18,150千円
過疎対策事業債　13,300千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
5.市民安心安全プロジェクト
[生活基盤の整備]
(1)効果的な道路新設・改良と補修の実施

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	社会資本整備総合交付金事業　市道春日野依線

所管課	181	建設課	（建設部）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	7	土木費
項	2	道路橋梁費
目	3	道路新設改良費
細目	16	社会資本整備総合交付金事業（春日野依線）

事業の目的

当該路線は、宇陀市大宇陀を南北に結ぶ重要な生活道路であり、また、うだ・アニマルパークへのアクセス道路でもある。近年、通行車両の大型化や舗装の老朽化のため舗装補修を行い、道路の安全性の確保と利便性の向上を図る。

根拠条例等	「道路法第42条」（道路の維持又は修繕）
総合計画	基本計画　第3章　第2節　道路交通網の整備

H30年度事業の概要

社会資本整備総合交付金事業
全 体 計 画　H25～H33年度
全体事業費　82,100千円
全 体 延 長　L=1,400m

H30年度　概　要　L=128m　W=6.5m

（舗装補修）	工　事　費	15,000千円
	事　務　費	200千円
計		15,200千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

主要な生活道路の安全性及び利便性を向上させることで、観光客の増加による地域の活性化が図られる。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	9,075
県　費	
市　債	5,600
その他	
一般財源	525
H30予算額	15,200
H29 当初予算額	41,300
H29 現計予算額	41,300
増減額	▲ 26,100

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	18,498	27,387
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費（人工×8,000千円）	1,600	1,600
総事業費：人件費含む（千円）	20,098	28,987
【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価）・ 総合戦略 ・ その他（　　）		
活動指標名	整備率	
活動指標の算式	整備済延長／全体延長	
活動指標の実績(見込)	77.3 単位 %	85.9 単位 %
単位当たりコスト　（円）	260,048	337,619

特定財源の状況

社会資本整備総合交付金　9,075千円
合併特例債　5,600千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
5.市民安心安全プロジェクト
[生活基盤の整備]
(1)効果的な道路新設・改良と補修の実施

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	社会資本整備総合交付金事業　市道春日小附線

所管課	181	建設課	（建設部）

事業の目的

当該路線は、地域の重要な生活道路であるが、幅員が狭く、一部の大型車の通行に支障をきたしている。また、うだ・アニマルパークへの南側からのアクセス道路として機能を充実することで、観光客の集客、交通渋滞の解消等の通行安全の確保及び利便性の向上を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	7	土木費
項	2	道路橋梁費
目	3	道路新設改良費
細目	17	社会資本整備総合交付金事業（春日小附線他）

根拠条例等	「道路法第42条」（道路の維持又は修繕）
総合計画	基本計画　第3章　第2節　道路交通網の整備

H30年度事業の概要

社会資本整備総合交付金事業
全 体 計 画　H25～H33年度
全体事業費　50,500千円
全 体 延 長　L=205m
H30年度　概　要　L=70m　W=7m

工　事　費	4,450千円
用　地　費	1,350千円
補　償　費	3,100千円
計	8,900千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

主要な生活道路の安全性の確保と利便性の向上、観光客の増加により地域の活性化が図られる。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	2,692
県　費	
市　債	
その他	6,208
一般財源	
H30予算額	8,900
H29 当初予算額	16,670
H29 現計予算額	16,670
増減額	▲ 7,770

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	22,649	
従事職員数【人工】	0.20	
人件費（人工×8,000千円）	1,600	
総事業費：人件費含む（千円）	24,249	

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名	整備率					
活動指標の算式	整備済延長／全体延長					
活動指標の実績(見込)	75.6	単位	%		単位	
単位当たりコスト　（円）	320,754					

特定財源の状況

社会資本整備総合交付金　2,692千円
地域づくり推進基金繰入金　3,104千円
雑入　3,104千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
5.市民安心安全プロジェクト
[生活基盤の整備]
(1)効果的な道路新設・改良と補修の実施

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	社会資本整備総合交付金事業　市道春日藤井線

所管課	181	建設課	（建設部）

事業の目的

当該路線は、地域の重要な生活道路であるが、幅員が狭く、一部の大型車の通行に支障をきたしている。また、うだ・アニマルパークへの南側からのアクセス道路として機能を充実することで、観光客の集客、交通渋滞の解消等の通行安全の確保及び利便性の向上を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	7	土木費
項	2	道路橋梁費
目	3	道路新設改良費
細目	17	社会資本整備総合交付金事業（春日小附線他）

根拠条例等	「道路法第42条」（道路の維持又は修繕）
総合計画	基本計画　第3章　第2節　道路交通網の整備

H30年度事業の概要

社会資本整備総合交付金事業
全 体 計 画　H25～H33年度
全体事業費　129,500千円
全 体 延 長　L=135m
H30年度　概　要　　L=60m　W=7m

工　事　費	22,500千円
事　務　費	373千円
計	22,873千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

主要な生活道路の安全性及び利便性の向上、観光客の増加により地域の活性化が図られる。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	13,612
県　費	
市　債	
その他	9,260
一般財源	1
H30予算額	22,873
H29 当初予算額	35,200
H29 現計予算額	35,200
増減額	▲ 12,327

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	26,250	
従事職員数【人工】	0.30	
人件費（人工×8,000千円）	2,400	
総事業費：人件費含む（千円）	28,650	
【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価）・ 総合戦略 ・ その他（　　）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績(見込)	単位 %	単位 %
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況

社会資本整備総合交付金 13,612千円
地域づくり推進基金繰入金 4,630千円
雑入 4,630千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
5.市民安心安全プロジェクト
[生活基盤の整備]
(1)効果的な道路新設・改良と補修の実施

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	社会資本整備総合交付金事業　市道奥山鳴谷線

所管課	181	建設課	（建設部）

事業の目的

当該路線は、県道都祁名張線と市道小倉室生線を結ぶ地域の生活道路であり、また、観光客のアクセス道路として重要な役割を担っているが、舗装面の老朽化により通行に支障をきたしているため、舗装補修を行い、通行者の安全確保と利便性の向上を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	7	土木費
項	2	道路橋梁費
目	3	道路新設改良費
細目	18	社会資本整備総合交付金事業（奥山鳴谷線）

根拠条例等	「道路法第42条」（道路の維持又は修繕）
総合計画	基本計画　第3章　第2節　道路交通網の整備

H30年度事業の概要

社会資本整備総合交付金事業
全 体 計 画　H27～H33年度
全体事業費　8,000千円
全 体 延 長　L=2,300m
H30年度　概　要　L=640m　W=6m

工　事　費	34,000千円
事　務　費	200千円
計	34,200千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

地域の生活道路及び観光客のアクセス道路であり、通行者の安全確保及び利便性の向上を図る。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	20,570
県　費	
市　債	15,100
その他	
一般財源	▲ 1,470
H30予算額	34,200
H29 当初予算額	31,000
H29 現計予算額	31,000
増減額	3,200

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	22,744	27,729
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費（人工×8,000千円）	1,600	1,600
総事業費：人件費含む（千円）	24,344	29,329

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名	整備率					
活動指標の算式	整備済延長／全体延長					
活動指標の実績(見込)	51.0	単位	%	57.5	単位	%
単位当たりコスト　（円）	477,741			510,262		

特定財源の状況

社会資本整備総合交付金
20,570千円
辺地対策事業債　15,100千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
5.市民安心安全プロジェクト
[生活基盤の整備]
(1)効果的な道路新設・改良と補修の実施

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	社会資本整備総合交付金事業　市道大東黒木線

所管課	181	建設課	（建設部）

事業の目的	当該路線は、国道370号へのアクセスであり、地域の生活道路として重要な役割を担っているが、舗装面の老朽化により通行に支障をきたしているため、舗装修繕を行い、通行者の安全性の確保と利便性の向上を図る。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	7	土木費
項	2	道路橋梁費
目	3	道路新設改良費
細目	19	社会資本整備総合交付金事業（大東黒木線）

根拠条例等	「道路法第42条」（道路の維持又は修繕）
総合計画	基本計画　第3章　第2節　道路交通網の整備

H30年度事業の概要

社会資本整備総合交付金事業
全 体 計 画　H27～H33年度
全体事業費　48,700千円
全 体 延 長　L=1,100m
H30年度　概　要　L=90m　W=7m

工　事　費	12,000千円
事　務　費	200千円
計	12,200千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

地域の生活道路及び観光客のアクセス道路であり、通行者の安全確保及び利便性の向上を図る。

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	7,260
県　費	
市　債	4,500
その他	
一般財源	440
H30予算額	12,200
H29 当初予算額	12,460
H29 現計予算額	12,460
増減額	▲ 260

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	12,684	
従事職員数【人工】	0.20	
人件費（人工×8,000千円）	1,600	
総事業費：人件費含む（千円）	14,284	

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名	整備率					
活動指標の算式	整備済延長／全体延長					
活動指標の実績(見込)	42.5	単位	%		単位	
単位当たりコスト　（円）	336,454					

特定財源の状況

社会資本整備総合交付金　7,260千円
合併特例債　4,500千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
5.市民安心安全プロジェクト
[生活基盤の整備]
(1)効果的な道路新設・改良と補修の実施

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	社会資本整備総合交付金事業　市道玉立2号線

所管課	181	建設課	（建設部）

事業の目的

当該路線は、国道370号と国道165号を結ぶ主要幹線道路として重要な役割を担っているが、舗装面の老朽化により、通行に支障をきたしているため、舗装修繕を行い、通行者の安全確保と利便性の向上を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	7	土木費
項	2	道路橋梁費
目	3	道路新設改良費
細目	30	社会資本整備総合交付金事業（玉立2号線）

根拠条例等	「道路法第42条」（道路の維持又は修繕）
総合計画	基本計画　第3章　第2節　道路交通網の整備

H30年度事業の概要

社会資本整備総合交付金事業
全 体 計 画　H29～H33年度
全体事業費　350,000千円
全 体 延 長　L=2,500m
H30年度　概　要　　L=340m　W=7m

工　事　費	59,000千円
事　務　費	200千円
計	59,200千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

主要幹線道路の通行者の安全確保及び利便性の向上を図る。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	35,695
県　費	
市　債	24,900
その他	
一般財源	▲ 1,395
H30予算額	59,200
H29 当初予算額	31,000
H29 現計予算額	31,000
増減額	28,200

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	7,363	30,041
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費（人工×8,000千円）	1,600	1,600
総事業費：人件費含む（千円）	8,963	31,641

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名	整備率				
活動指標の算式	整備済延長／全体延長				
活動指標の実績(見込)		単位	2.4	単位	%
単位当たりコスト　（円）			13,183,750		

特定財源の状況

社会資本整備総合交付金
35,695千円
合併特例債　24,900千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
5.市民安心安全プロジェクト
[生活基盤の整備]
(1)効果的な道路新設・改良と補修の実施

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	既存木造住宅耐震診断・改修支援事業

所管課	161	まちづくり推進課	（建設部）

事業の目的	大規模地震発生時に被害が大きくなると予想される旧基準建築物について、耐震診断の実施により耐震性を把握し、耐震改修を行うことで既存木造住宅の安全性向上を推進する。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	7	土木費
項	4	都市計画費
目	1	都市計画総務費
細目	1	本庁都市計画総務費

根拠条例等	建築物の耐震改修の促進に関する法律、宇陀市耐震改修促進計画
総合計画	基本計画　第3章　第5節　安全･安心な暮らしの実現

H30年度事業の概要	･既存木造住宅耐震改修支援事業 3戸×500千円＝1,500千円 ･既存木造住宅耐震診断事業 10戸×50千円＝500千円
事業の目標･成果（これまでの成果，今後の見通し）	地震により耐震性が不十分な建築物の被害が軽減されることにより、仮設住宅や瓦礫の減少が図られ、早期の復旧･復興に寄与する。また、避難路が確保されることなどから避難、救命、消火等の活動が速やかに行えることで、災害の拡大を防ぐことが出来、人的被害･物的被害を軽減できる。

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	1,000
県　費	500
市　債	
その他	
一般財源	500
H30予算額	2,000
H29当初予算額	1,500
H29現計予算額	1,500
増減額	500

事業のコスト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	600	350
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む（千円）	1,400	1,150

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名	診断･改修実施数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)	9	単位	戸	7	単位	戸
単位当たりコスト　（円）	155,556			164,286		

特定財源の状況

住宅建築物耐震改修等事業補助金　1,000千円
奈良県既存木造住宅耐震診断支援事業補助金　500千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
5.市民安心安全プロジェクト
[暮らしの安全]
（14）既存木造住宅耐震診断･改修支援事業

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	公園への健康遊具設置事業

所管課	163	公園課	（建設部）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	7	土木費
項	4	都市計画費
目	2	公園費
細目	1	公園費

事業の目的	ウェルネスシティ推進事業の一環として、都市公園等に健康遊具を設置することにより、市民が散歩の途中や公園でのラジオ体操活動の前後に、気軽に軽い運動が出来ることで健康寿命を延ばす。
根拠条例等	都市公園法に基づき宇陀市公園条例
総合計画	基本計画　第2章　第1節　健康づくりの推進
H30年度事業の概要	天満台公園赤人公園への健康遊具の設置　5種　3,000千円
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	地域住民の健康に対する意識向上効果と共に、心身の体力維持が期待できる。併せて、老朽化した公園遊具の代替として設置することにより、来園者の安心・安全に寄与する。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	2,800
その他	
一般財源	200
H30予算額	3,000
H29 当初予算額	
H29 現計予算額	
増減額	3,000

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む（千円）		
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価) ・ 総合戦略 ・ その他(　　)		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績(見込)	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況
合併特例債　2,800千円

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 2.健康なまちづくりプロジェクト (1)“ウェルネスシティ”推進事業

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	平成榛原子供のもり公園再生プロジェクト(地方創生)

所管課	163	公園課	（建設部）

事業の目的	当公園は、21世紀を担う子供たちの健やかな成長を促すと共に、各世代間の交流の場として対話を生み、自然環境や社会性を育む場の提供を目的に開園したが、利用者が横ばい傾向にあるため、単なる維持管理だけではなく、集客効果のある様々な事業の展開を市民団体の活力を生かして行い、公園の活性化を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	7	土木費
項	4	都市計画費
目	2	公園費
細目	62	子供のもり公園費

根拠条例等	宇陀市公園条例
総合計画	基本計画　第1章　第5節　公園・緑地の整備

H30年度事業の概要	
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	今後の見通しとしては、子供のもり公園を幅広い年齢層に知ってもらい来園いただくため、現在よりも子供対象に限らない事業を検討する。 「子供のもり公園活性化協会」を中心に事業を企画運営し、市内外からの来園者増大を目指す。また、子供のもり公園活性化協会自身も新規会員を募り、より一層の事業の充実や幅広い内容で企画運営する。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	864
H30予算額	864
H29 当初予算額	864
H29 現計予算額	864
増減額	

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	648	864
従事職員数【人工】	1.00	1.00
人件費（人工×8,000千円）	8,000	8,000
総事業費：人件費含む（千円）	8,648	8,864
【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価）・ 総合戦略 ・ その他（　　）		
活動指標名	入園者数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	62,356 単位 人	63,000 単位 人
単位当たりコスト　（円）	139	141

特定財源の状況

備考
＜予算案のポイント＞
【重点事業】
1.にぎわいづくり創造プロジェクト
[観光振興　宇陀市の歴史的文化的資産の活用]
(6)観光施設、観光資源の整備

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宿泊事業者誘致事業及び公園整備事業（地方創生）

所管課			
	164	宿泊施設用地・公園整備準備室	（建設部）
	604	文化財課	（教育委員会事務局）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	7	土木費
項	4	都市計画費
目	2	公園費
細目	84	宿泊施設用地・公園整備事業費

事業の目的

老朽化した保養センター美榛苑にかわり、宿泊事業を行う事業者を誘致する。
また、市の遊休地を活用し、災害時の避難場所等に活用できる機能を有し、市の魅力を感じてもらえる公園の整備を行うとともに、周辺住民の利便性の向上を図る道路整備を一体的に行い、奈良県東部地域の拠点として活性化を図る。
なお、工事着手前に埋蔵文化財の調査を実施する。

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第5章　第4章　観光の振興

H30年度事業の概要

宿泊事業者誘致・公園整備における設計等業務
- 事業者及び地権者調整等旅費　455千円
- 事務費及び公用車燃料代　243千円
- 郵送料及び用地購入に係る収入印紙代等　960千円
- 上下水・温泉引込工事実施設計等業務　25,000千円
- 新規地区公園実施設計委託料　35,000千円
- コピー使用料及び公用車リース料　340千円

整備予定地内の遺跡調査
- 発掘調査委託　864千円
- 発掘調査概要報告書作成等　630千円

合計　63,492千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

保養センター美榛苑にかわる奈良県東部地域の観光拠点となる宿泊施設を誘致するとともに、防災機能を有した公園の整備を行い、市の活性化及び住民福祉等、住環境の向上を図る。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	17,500
県　費	
市　債	40,300
その他	
一般財源	5,692
H30予算額	63,492
H29 当初予算額	56,522
H29 現計予算額	408,376
増減額	6,970

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	6,381	408,376
従事職員数【人工】	2.00	4.00
人件費（人工×8,000千円）	16,000	32,000
総事業費：人件費含む（千円）	22,381	440,376

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績(見込)	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況

社会資本整備総合交付金　17,500千円
合併特例債　40,300千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
1.にぎわいづくり創造プロジェクト
[観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用]
(2)宿泊事業者誘致・公園整備事業

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	萩原12号線道路改良事業

所管課	161	まちづくり推進課	（建設部）

事業の目的

市街地を中心により安全で暮らしよい道路網の整備を行うことで、歩行者や自転車通行者に配慮した道路整備を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	7	土木費
項	4	都市計画費
目	3	社会資本整備推進事業費
細目	1	社会資本整備総合交付金事業費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第3章　第2節　道路交通網の整備

H30年度事業の概要

（千円）

委託料	5,600
工事請負	44,000
公有財産購入費	31,800
補償	40,000
事務費	1,771
合計	123,171

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

密集市街地において、消防自動車等の緊急車両がスムーズに通行可能となり、地域住民の安心・安全な暮らしを確保する。
南都銀行・大和信用金庫・新町郵便局をはじめ周辺商店等へのアクセス道路として整備することで、商業サービス環境の充実と賑わいの創出を図る。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	62,920
県　費	
市　債	56,700
その他	
一般財源	3,551
H30予算額	123,171
H29 当初予算額	116,368
H29 現計予算額	116,368
増減額	6,803

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	41,218	35,968
従事職員数【人工】	1.50	1.50
人件費（人工×8,000千円）	12,000	12,000
総事業費：人件費含む（千円）	53,218	47,968

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名	進捗率					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)	56	単位	%	59	単位	%
単位当たりコスト　（円）	950,321			813,017		

特定財源の状況

社会資本整備総合交付金
62,920千円
合併特例債　56,700千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
5.市民安心安全プロジェクト
[生活基盤の整備]
（1）効果的な道路新設・改良と補修の実施

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	公営住宅ストック総合活用計画策定事業

所管課	182	公営住宅課	（建設部）

事業の目的	社会経済情勢の変化や市営住宅を取り巻く状況の変化等に対応するため、市営住宅の建替え、改善、長寿命化（維持保全）の適切な手法の選択の基となる市営住宅の総合的な計画を策定し、効率的かつ的確な整備・供給を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	7	土木費
項	5	住宅費
目	1	住宅管理費
細目	1	本庁住宅管理費

根拠条例等	宇陀市営住宅条例、宇陀市営改良住宅条例、宇陀市特定賃貸住宅条例
総合計画	基本計画　第3章　第1節　定住促進の構築

H30年度事業の概要	市営住宅ストック総合活用計画 （長寿命化計画）策定業務委託　7,800千円
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	老朽化が進む市営住宅の建替え、改善、長寿命化の基となる計画により、現在管理している市営住宅の効率的な利活用を図るとともに、住宅セーフティネットとして、真に住宅に困窮する者に的確に供給することを図る。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	3,900
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	3,900
H30予算額	7,800
H29当初予算額	
H29現計予算額	
増減額	7,800

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む（千円）		
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価) ・ 総合戦略 ・ その他(　　)		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績(見込)	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況
地域住宅政策交付金　3,900千円

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 3.住みよい地域創造プロジェクト (10)公営住宅ストック総合活用計画策定事業

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	市営住宅ストック総合改善事業（屋根改善）

所管課	182	公営住宅課	（建設部）

事業の目的

昭和56年～58年（簡易耐火構造）の改良住宅でスレート屋根が劣化し、雨漏りや屋根材が落下する危険性があるため、改善工事を施工し、躯体部分の劣化を軽減すると共に長寿命化、安全対策を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	7	土木費
項	5	住宅費
目	1	住宅管理費
細目	1	本庁住宅管理費

根拠条例等	宇陀市営住宅条例、宇陀市営改良住宅条例
総合計画	基本計画　第3章　第1節　定住拠点の構築

H30年度事業の概要

大宇陀　梅ノ木団地6棟12戸・協和団地1棟1戸
・屋根改善工事測量設計業務　400千円（単独）
・屋根改善工事監理業務　1,100千円（単独）
・屋根改善工事（7棟13戸）　48,300千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

事業計画

	団地名	棟	戸数	建築年度	年度（棟数） H28	H29	H30
改良	第7	10	20	S58		7	(3)
	梅ノ木	6	12	S58			6
	芝生1	2	4	S58		(2)	
	芝生2	2	4	S59		(2)	
	協和	8	15	S59	7		1
公営	第1	10	20	S56	5	5	
計		38	75		12	16	10

（ ）は前年度繰越

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	19,320
県　費	
市　債	30,700
その他	
一般財源	▲ 220
H30予算額	49,800
H29 当初予算額	82,982
H29 現計予算額	101,982
増減額	▲ 33,182

事業のコスト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	79,190	79,182
従事職員数【人工】	1.00	1.00
人件費（人工×8,000千円）	8,000	8,000
総事業費：人件費含む（千円）	87,190	87,182

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名	住宅改善戸数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)	24	単位	戸	32	単位	戸
単位当たりコスト　（円）	3,632,917			2,724,438		

特定財源の状況

地域住宅政策交付金　19,320千円
合併特例債　30,700千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
3.住みよい地域創造プロジェクト
(9)公営住宅等改善事業